

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1】

授業作り	重 点	個に応じた指導の充実を図るとともに、児童の表現力を高め、児童相互の学び合いを中心とした主体的・対話的で深い学びをつくる指導方法の在り方を探る。
環境作り		ユニバーサルデザインに配慮し、全ての児童が主体的・対話的で深い学びを行うことができる学習基盤をつくる。学習や生活ルールを統一し、全ての児童が安心して学習に臨める環境作りを目指す。

■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を正しく覚え、正確に読んだり書いたりできるようにする。</li> <li>・様々な種類の文章を読み、内容を理解できるようにする。</li> <li>・日常生活に必要な言葉を正しく使い、相手に分かりやすく伝えられるようにする。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数の構成の特徴を理解し、数の表し方や加法・減法などの基礎・基本の定着を図る。</li> <li>・分かったことや気付いたことを自分の言葉で表現する力を高める。</li> </ul>	<p>【全教科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもち、安心して学習に取り組めるようにするための学習展開をパターン化する。</li> <li>・ペア学習やグループ学習など、多様な学習形態の工夫</li> <li>・デジタル教科書やタブレット端末など、ICT機器の活用</li> <li>・プリントやドリルノートを活用した繰り返し学習の実施</li> </ul> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動、読み聞かせの充実</li> <li>・音読活動の充実</li> <li>・語彙を習得させ、言葉で表現する活動の充実</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を操作する学習を適宜導入</li> </ul>
2 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく学ぶことへの意欲を高める。</li> <li>・基本的な学習内容を定着させ、自分の思いや考えを伝える力の育成を図る。</li> </ul> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の漢字を読んだり、書いたりする意識を高める。</li> <li>・拗音や促音を正しく使って文章を書く力や、書いた文章を読み直して間違いを直す習慣を付ける。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し上がり、繰り返し下がりのある問題に対する計算力を高める。</li> <li>・簡単な掛け算の仕組みを理解する。</li> </ul>	<p>【全教科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア学習やグループ学習などの学習形態の工夫</li> <li>・デジタルドリル等を活用した繰り返し学習の実施</li> </ul> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章や詩の視写、教科書の音読の継続的な実施</li> <li>・週末の日記等、書く活動の定期的な実施</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な計算練習の実施</li> </ul>

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
3 学 年	<p>新宿区学力定着度調査の結果から、国語科、算数科ともに区平均程度以上の正答率であり、学力定着の状況は良いと言える。中でも、国語科の思考・判断・表現を問われる問題の正答率が区平均より高かった。</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を書く中で、正しく句読点を使い、既習漢字は正しい筆順で覚えて書けるようにする。</li> <li>相手を見て話したり聞いたりさせることを通して、自分の思いや考えを明確に表現する力の育成を図る。</li> <li>様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、それらを会話や文章の中で使い、語彙を豊かにする。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>繰り下がりのある計算を正確にできるようにする。</li> <li>数の大小や数の順序を数の概念を基に比較することができる。</li> <li>乗法九九の習得が不十分なため、繰り返し学習などを通して身に付けられるようにする。</li> <li>課題解決の方法を考え、図、式、言葉などのいろいろな方法で表現できるようにする。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業での音読活動や音読カードの活用</li> <li>漢字ドリルノートの活用</li> <li>漢字のミニテストの活用</li> <li>日記や学習感想など、文章を書く活動の設定</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別少人数指導を活用した、個に応じた指導の充実</li> <li>算数プリント、デジタルドリル等を用いた繰り返し学習の実施</li> <li>児童の理解度を把握するための単元末テストを実施</li> </ul>
4 学 年	<p>新宿区学力定着度調査の結果では、国語科は区平均を上回り、算数科は区平均を下回る正答率だった。</p> <p>一方で、A層とD層の間の平均到達スコアには50%の乖離が見られており、D層への支援が重要である。</p> <p>【国語】</p> <p>おおむね区平均を上回っている。言葉の特徴や使い方に関する正答率が区平均より若干低いほか、説明文の読解に課題がある。</p> <p>【算数】</p> <p>達成率が区平均を下回っており、とくに「数と計算」領域で課題が見られた。</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を正確に読み取る力を高める。</li> <li>様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、それらを会話や文章の中で使い、語彙を豊かにする。</li> <li>書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える力を伸ばす。</li> <li>文章の要約を通して、言葉を言い換えて文を短くまとめることを実践させ、何が書かれているのかを理解し、読解力を付ける。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計算の決まりを正しく理解し、答えを求める力をつける。</li> <li>問題文を読み取って立式し、答えを求める力をつける。</li> <li>筆算の定着を図る。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業での音読活動の充実</li> <li>音読カードの活用</li> <li>読解が難しい児童に対する補助的なワークシートの活用</li> <li>一人ひとりの課題に合わせた取組方法の提示</li> <li>漢字ドリルノートの活用</li> <li>漢字のミニテストの活用</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルドリル及び計算ドリルの活用</li> <li>習熟度別指導による、個に応じた指導の充実</li> <li>児童の理解度を把握して指導に生かすための単元末テストを実施</li> </ul>

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
5 学 年	<p>新宿区学力定着度調査の結果では、国語科は5%以上区の平均を上回った。算数科は区平均並みの正答率であった。</p> <p>【国語】 「書くこと」の正答率が区平均を上回っているものの、他の領域の平均正答率より下回り、A層とD層の間に平均正答率で大きな差がある。</p> <p>【算数】 「数と計算」の領域と思考・判断・表現の観点で区平均をわずかに下回っており、A層とD層の間に平均正答率で大きな差があり、丁寧な個別支援が必要である。</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的に合わせて自分の意見や考えを表現する力の育成を図る。</li> <li>・ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える力を高める。</li> <li>・ 自分とは異なる意見や考えに触れ、自分の考えを深めようとする意識を高める。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四則計算や図形、データの活用について正しく理解する。</li> <li>・ 問題を解決する過程を論理的に、順序立てて説明する力を高める。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の意見や考えを、分量設定した文章量で表現する活動の設定</li> <li>・ 文章を客観的に見直したり情報を取捨選択したりする、推敲の習慣化</li> <li>・ 語彙を増やすための言葉調べや熟語の意味を広く知る活動の設定</li> <li>・ 話し合い活動や意見文の読み合い等の、考えを交流する活動の設定</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭学習を含むデジタルドリル等の効果的な活用</li> <li>・ 授業の終末におけるふりかえり活動の充実</li> <li>・ 児童の理解度を把握するための単元末テストを実施</li> </ul>
6 学 年	<p>新宿区学力定着度調査より</p> <p>【国語】 基礎的な知識・技能が問われる問題の正答率が区平均を上回るなど、学習内容の定着状況はよいと言える。しかし、A層とD層の差が大きく開いているので二極化が進んでいる。「読むこと」の領域について、さらに力を付けさせたい。</p> <p>【算数】 平均の下回っている項目が多いことから学び残しや苦手な分野が多い学年であることが分かる。定期的に復習を取り入れて学び残しがないようにしていきたい。</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを論理的にまとめ、書く力を高める。</li> <li>・ 複数の文章や知識を比較したり、関連付けたりしながら読み、自分の考えや事象の特徴を説明する力の育成を図る。</li> <li>・ 友達と考えを交流することを通して、自分の考えを広げたり深めたりしようとする意欲を高める。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わり算や分数の計算、図形の特徴の理解について定着を図る。</li> <li>・ 解法のプロセスを順序立てて書き、発表する力を高める。</li> <li>・ 解答の見直しをする。</li> </ul>	<p>【全教科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の体験や経験、既習事項と関連付けた導入や展開の工夫</li> </ul> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的な読書活動の推進</li> <li>・ 文字数を指定した、書く活動の設定</li> <li>・ 複数の文章を対比したり、関連付けたりしながら読む活動の設定</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルドリル等の活用</li> <li>・ 授業の導入時に、前時のふりかえりを実施</li> <li>・ 児童の理解度を把握するための単元末テストを実施</li> </ul>